

● 当法人における職場環境改善の取組

当法人においては、介護職員が積極的に資質向上やキャリア形成を行うことができる労働環境を整備するとともに、介護職員自身が研修等を積極的に活用することにより、介護職員の資質向上や雇用管理の改善をより一層推進し、ひいては利用者サービスの更なる向上に努めています。

介護職員を主な対象とした処遇改善に向けた取組のひとつとして、次のとおり職場環境の改善を図っています。

項目	取組内容
入職促進に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化</li> <li>●他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者等にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築</li> <li>●職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施</li> </ul>
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>●働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等</li> <li>●上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ・働き方に関する定期的な相談の確保</li> </ul>
両立支援・多様な働き方の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指す者のための休業制度等の充実</li> <li>●職員の事情等の状況に応じた勤務シフトの導入</li> <li>●有給休暇を取得しやすい雰囲気・意識作りのため、具体的な取得目標を定めた上で、取得状況を定期的に確認し、身近な上司等からの積極的な声かけを行っている</li> <li>●有給休暇の取得促進のため、情報共有や複数担当制等により、業務の属人化の解消、業務配分の偏りの解消を行っている</li> </ul>
腰痛を含む心身の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>●短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策の実施</li> <li>●介護職員の身体の負担軽減のための職員に対する腰痛対策の研修等の実施</li> <li>●事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備</li> </ul>
生産性向上(業務改善及び働く環境改善)のための取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>●厚生労働省が示している「生産性向上ガイドライン」に基づき、業務改善活動の体制構築(委員会やプロジェクトチームの立ち上げ、外部の研修会の活用等)を行っている</li> <li>●現場の課題の見える化(課題の抽出等)を実施している</li> <li>●5S活動(業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの)等の実践による職場環境の整備を行っている</li> <li>●業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減を行っている</li> <li>●介護ソフト(記録、情報共有、請求業務転記が不要なもの。)、情報端末(タブレット端末、スマートフォン端末等)の導入</li> <li>●職員間の連絡調整の迅速化に資するICT機器の導入</li> <li>●業務内容の明確化と役割分担を行い、介護職員がケアに集中できる環境を整備。特に、間接業務(食事等の準備や片付け、清掃、ベッドメイク、ゴミ捨て等)がある場合は、いわゆる介護助手等の活用や外注等で担うなど、役割の見直しやシフトの組み換え等を行う。</li> </ul>
やりがい・働きがいの醸成	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善</li> <li>●地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施</li> <li>●利用者本位のケア方針など介護保険や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供</li> <li>●ケアの好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供</li> </ul>